

中央学院大学 学友会 会報

第 **43** 号
September * 2017



公式マスコット

「ちゅーいんこ」

★ちゅーいんこのLINEスタンプが登場!★

公式マスコット、中央学院(ちゅういん)の「ちゅーいんこ」は、いつも学生たちに寄り添い、応援を惜しまない健気なインコです!そして今回、ちゅーいんこのLINE公式オリジナルスタンプができました!!部活をしているちゅーいんこ、勉強しているちゅーいんこ、おじぎしているちゅーいんこ...日常生活でも使える可愛いちゅーいんこがたくさん!! LINEスタンプショップで「ちゅーいんこ」と検索してね!

第 **51** 回

あびこ祭

開催

10月28日(土)・29日(日)

時間: 10:00-16:30

テーマ **挑戦**

卒業生の皆様

キャンパスへお越しください。

28日(土)には学友会総会が開かれます。くわしくは、本会報7ページをご覧ください。

さまざまな特典アリ!

Pick up **01**

スポーツ関連イベント



講演: 駅伝部 川崎勇二監督

箱根駅伝への道

28日 13:30-15:00

要事前申込み!! 先着400名

お問い合わせはアクティブセンターまで。

お正月の風物詩でもある箱根駅伝。この箱根駅伝の歴史やルール、あまり知られていない裏事情などをわかりやすく説明します。また中央学院大学が連続出場し、常連校の一端となった取り組みを紹介します。

*ゴルフ部 | スナッグゴルフ体験

*サッカー部 | キックターゲット

Pick up **02**

Special Live 無料

GIRLFRIEND

29日 13:15-13:45



2016年11月にメジャーデビューの大阪出身ガールズバンド

感覚ピエロ

29日 15:00-16:00



不可能を可能に! 挑戦し続ける反骨精神の自由人

Pick up **03**

アカデミック関連イベント

*商学部

マネージメントゲーム

*法学部

CGU大捜査線

*現代教養学部

受験英語を歌って学ぼう!



2016年開催、ホームカミングデー報告

【多くの卒業生たちと再会、その数280名】

昨年10月29日、30日に行われたあびこ祭に併せて、大学創立50周年を記念しホームカミングデーが開催されました。

両日で280名もの卒業生が卒業生受付にお立ち寄りいただき、受付していただいた皆様に、大学イメージキャラクター「ちゅーいんこ」のイラスト入りエコバックと金太郎飴をプレゼントしました。29日に開催した学友会総会にも多くの卒業生がご出席くださいました。

また、ホームカミングデーの催しとして、初出店した「Teacher's Café」も大好評でした。Teacher's Caféでは、教員が当日コーヒー豆を焙煎し淹れた本格コーヒーと市川先生考案のアンチョビを使用したトマトソースパスタがとても美味しいと評判で、1日目はあっという間に完売となりました。

今年のあびこ祭にも「Teacher's Café」を出店予定です! お世話になった先生方にもお会いできるチャンスです! 学友会からも記念グッズやあびこ祭でご利用いただける食券をプレゼントいたします。ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、皆様のご来校を心よりお待ちしております。

pasta



★これが評判の pasta です!

食べてしまうのが 惜しくなる、可愛いデザイン

candy



★6号館正面入口ロビー脇に 設けられたくつろぎスペース

ちゅーいんこの エコバック

bag

第5回 日帰り 箱根駅伝 応援バスツアーへ行こう!

2018年
1月
2日

皆さま、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

お正月の風物詩のひとつ、箱根駅伝。
日々、練習を積み重ねてきた本学駅伝部の渾身の走りをナマで体感し、ぜひ声を出して応援しましょう!
初回はバス1台、34名からのスタートでしたが、今年はバスを5台配車し、138名の方が参加され、応援の輪が広がっています。
実際に選手たちが目の前を駆け抜けていく疾走感は、テレビでの観戦とは比べ物にならないほどの迫力です。
また、霊峰・富士山を近くで見ることができ、芦ノ湖の海賊船クルーズもご用意しています。



晴天なら、富士の姿も手にとるよう。参加者から大きな歓声が上がります!!

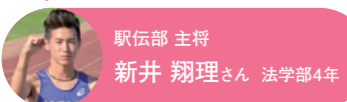
海賊船乗船 桃源台から都心へ



2018年1月2・3日のアツいレースをお楽しみに!

ご期待ください!
今年こそ5位以内を!

主将として
成長できた1年、
チーム5位の目標を全力で!



駅伝部 主将
新井 翔理さん 法学部4年

今年、主将をやらせていただき、自分自身、慣れないながらもチームをまとめ引っ張っていく難しさを肌で知り、精神的にも成長できたと実感しています。おかげで今シーズンは自己ベストも更新でき、調子もますます。学生最後の大会となる箱根駅伝で、チーム一丸となって「5位以内」という目標をぜひ達成したいと思っています。



自分がレースの
流れをつくり、
あとは上を目指すだけ!



駅伝部 副主将
大森 滯さん 法学部4年

強くなる環境を求めて中央学院に来て、川崎監督、チームメイトに出会い、今まで成長することができました。箱根駅伝は他の大会とは違って独特の雰囲気があります。注目が大きい分、自分の想像以上の力を出せる場所でもあります。昨年は1区を走りましたが、自分がつまずくとダメなので、ずっとチームのことを考えながら走っていました。あとは上を目指すだけです。個人的には2区を順位ひと桁で走り切るのが目標です。

3年連続シード権獲得!



ガンバレ!



参加費用

大人: 3,000円(中学生以上)

小学生: 1,000円

未就学児: 無料

募集定員: 先着200名(バス5台配車予定)

申込期間: 2017年10月16日(月)~2017年12月1日(金)

10月
16日

学生会ホームページにて
詳細公開!!

チアリーディング部 主将
相馬 佳奈さん 法学部3年

日頃から駅伝部の皆さんが必死で練習している姿を目にしているの、私たちが甘くならないよう日々の練習を心がけています。大会当日は前日から大手町に宿泊し、早朝から練習をし、朝7時から応援をスタートします。選手たちを送り出したあと箱根に先回りして往路のゴール地点で応援。復路は箱根で送り出し、ゴール地点の大手町へ。私たちにとっても大きな大会であり、今回も声を枯らして、みんな一丸となって応援します。選手の皆さん、精一杯力を出し切ってください。そして、1人でも多く現地の応援をお待ちしています!

昨年の参加者からのメッセージ

素晴らしい時間を共有できました!!

間近で選手達に応援でき、テレビでは味わえない臨場感を体感できました。

富士山を見たり遊覧船にも乗船でき、プチ観光気分も味わえました。

家族や友人と一緒に参加できたので最高!

集合・解散場所を3か所から選択できたのでとても便利!

今回も声を枯らして、全力で応援します!



三大駅伝 出場決定!

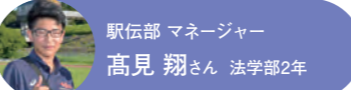
皆様のご声援よろしくお願いいたします。

第29回 出雲駅伝
出雲全日本大学選抜駅伝競走
2017年10月9日(月・祝)

第49回 全日本大学駅伝
秩父宮賜杯 全日本大学駅伝対校選手権大会
2017年11月5日(日)

第94回 箱根駅伝
東京箱根間往復大学駅伝競走
2018年1月2日(火)・3日(水)

選手たちが走り
集中できるよう、
日々サポートしています!

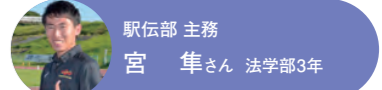


駅伝部 マネージャー
高見 翔さん 法学部2年

普段の練習ではタイムを測ったり、選手のフォームチェックのために動画を撮ったり、練習メニューの周知などさまざまな業務を行っています。以前は選手でしたが、ケガのため今年からマネージャーに転向しました。まだまだ新米ですが、選手たちが気持ちよく走り集中できる環境を心がけ、マネージャーならではの視点でチーム力アップに貢献できたらと思っています。



選手と監督との
パイプ役として、強い
雰囲気づくりをサポートします!



駅伝部 主務
宮 隼さん 法学部3年

チーム全体を見て、監督と選手の中間役としての働きが主務の役割です。選手にも近く、監督にも近い存在で双方の意見をズレがないように伝えていくのが大事ですね。もともと選手でしたが、選手時代よりもたくさんの部員と関わることができ、以前の自分よりも視野が広がったと思います。2年前から「チーム5位」を掲げていますが、達成できていません。「絶対に達成するんだ!」という強い雰囲気づくりを全力でサポートしていきたいです。



2017年4月新設!

「現代教養学部」の魅力はココにアリ!



現代教養学部の特長をお届けします。

2017年4月に中央学院大学の3番目の学部として誕生した「現代教養学部」。現代を生き抜くための幅広い基礎知識と「生きる力」を身につけるため、社会全体をキャンパスと捉え、多様な知識と教師陣、フィールドワークをはじめとした多彩な体験を通して、「教養力」と「実行力」を育みます。専門分野に偏りすぎない、現代社会で必要とされる市民力を養いながら、幅広い視野と実践力のある人材を育成します。



さまざまな学問を横断的に学べる、充実した教員陣が特長です!

博士号13名、博士課程後期修了者5名、

国際学会英文発表者10名

現代教養と言われる分野は、自分1人で多くを身につけるのはなかなか難しく、なんとなく知っている、解っているつもり... だけでは高度化・多様化する現代には対応できません。

現代教養学部では、哲学、思想、日本文学、英米文学、心理学、宗教、文化学、文化人類学、生命科学、都市文化論や芸術論、コミュニケーション論、国際関係・国際経済法、社会学、憲法、経済学、環境学、情報学、体育学、道徳教育、地域行政など、様々な学問を横断的に学ぶことができます。



藤堂 英樹 准教授

視覚化表現とコミュニケーション

アニメ・ゲームなどの3D映像から学ぶ

Web・映画・アニメ・ゲームなどの映像コンテンツに利用されている視覚化表現技術に注目し、表現者と鑑賞者の間のコミュニケーションについて学びます。視覚化表現を通じて、現代社会で必要とされるコミュニケーション技術について理解し、情報伝達技術とその背景にある社会現象を学んでいきます。



中川 淳司 教授

現代世界の政治経済と法

身近なテーマから日本と世界の経済と政治、法を理解する

私たちの日常の中での経済行動(ショッピングや旅行、アルバイト、預貯金など)が、日本だけでなく世界の経済の動きとつながっていることを体系的に学びます。TPPが日本の農業に与える影響や、外国人観光客の急増等、身近なテーマを掘り下げ、日本と世界の経済と政治と法はどのように結びついているのかを理解します。

教養力 × 実行力 = 生きるチカラ

学びの特長

現代社会を知り、社会を変えていく

フィールドワークやボランティアなど、地域の団体と協力し、実体験を通して課題を収集・分析。自分の社会での役割を考えながら、地域貢献活動などから現代社会を学びます。

海外異文化体験や語学研修

語学研修(アメリカやニュージーランド)をはじめ、日本と文化的・歴史的に関係の深い中国や韓国、モンゴルや台湾などでの異文化体験を通して、世界の文化を深く学びます。

ゼミナールで問題解決法を学ぶ

少人数でのゼミナールで、先生と学生がお互いに刺激し合える参加型学習を取り入れ、1人ひとりが積極的に問題を発見し、解決する力を身につけることで、自分の将来を拓ける力を養います。



【タブレット配布】

現代教養学部の学生には全員タブレットを配布。気になったらすぐ調べる、意見を聞いたらすぐ記録するなど、いつでもどこでも活用することができます。情報収集や分析方法を調べたり、ディスカッションやフィールドワークで積極的に利用しながら、「まとめる力」と「伝える力」を身につけていきます。



【日経新聞を朝・夕配布】

現代教養学部の学生全員の自宅に日本経済新聞を朝・夕配布します。個人の興味で見るインターネットやSNSとは違った、新聞特有の多様な情報に日々触れることで、メディアリテラシーを高めるとともに、授業でも積極的に活用しながら、社会の問題を考え、課題に向き合う視点を養います。

現代社会を生きるための教養を幅広く学び、自ら問題を発見し、解決する能力を育む。

現代教養学部 佐藤 寛 学部長



1991年、富山県常願寺川の調査にて。

現

代教養とは何か。よく質問を受けるのですが、その答えとしては、いま企業および大学は専門知識だけでなく、「社会人としての教養」を併せ持つ学生を求めていることがあります。社会人としての教養とは、自ら問題を発見し、解決できる行動力や実行力のことです。

現代教養学部では、大きく「地域」と「世界・異文化」の観点から捉え、学内だけでなく、実社会と連携しながら幅広い知識・技術・体験を身につけていきます。例えば、地域では我孫子市役所やJA、手賀沼の土地改良区をはじめとした市内の24団体と連携し、学外講師として講義していただくとともにインターンシップの場を提供していただいております。実学の中でさまざまな課題に触れ、解決に向けた幅広い学びを深めています。

また、世界・異文化については、イスラム社会や宗教の問題の他、従来からの提携大学に加え、本学部独自のアジア圏の提携大学への留学機会を提供しています。

そして、豊富なキャリアを有する教員陣を21名配し、幅広い分野から学び、現代社会で求められる市民力を養いながら、幅広い視野と実践力のある、これからのジェネラリストを育成します。

私も本学のOBで商学部の10期生です。哲学の石本三郎先生は恩師でもあり、いつも刺激を与えてくださった先生でした。



>> 卒業生子女推薦入試

出願期間

10月12日(木)~10月26日(木)
※郵送必着

商学部・法学部・現代教養学部では、卒業生子女に対しての推薦入試枠を設けております(若干名)。中央学院大学を卒業された皆さまのご息・ご息女で、高等学校または中等教育学校を平成29年3月に卒業および平成30年3月卒業見込みの方であれば、必要な書類を揃えることで出願することが可能です。

>> 卒業生子女学費減免制度

本学卒業生の子女が中央学院大学に入学した場合、入学金(30万円)が免除されます。これを機会に、皆さまのご息・ご息女を母校中央学院大学に進学させてはいかがでしょうか。オープンキャンパスも実施しておりますので、ぜひ参加いただき、新しくなった中央学院大学をご息・ご息女とともに御覧ください。お待ちしております。

母校への愛着心がさらに深まるよう、
全国で1人でも多くがつながる機会を増やしていきます。

会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこと
とお慶び申し上げます。

中央学院大学は昨年、創立50周年を迎え、校友会と
しましては会員3万人を超える規模に成長してきました。
母校がより発展し、在学生が豊かな学生生活を過ごせ
るよう支援を強化していくためにも、今後は全国の卒業
生の方々と知り、声を聞く機会を増やしていく構えです。

例えば、今年新設した「卒業生親睦会助成金」制度で
は、卒業生が10名以上集まる親睦会に対して3万円を
助成しています。こうした全国規模の小さな会を通し
て、社会で活躍される卒業生の方々の多様な能力や価
値観がつながり協力し合うことで、母校の発展に大きく
寄与できると考えております。

また、10月のあびこ祭では校友会総会だけでなく、卒
業生が気軽に集える歓談スペースを設けています。その
他にも箱根駅伝応援バスツアーや中国・四国地区支部
が中心となった出雲駅伝の応援をはじめ、さまざまな部
の活動の支援を通して、1人でも多くの卒業生同士が親
睦を深め合える場を設けていきます。

少子化や大学間競争も激しい時代ではありますが、
活動の範囲を全国に広げながら、中央学院大学の卒業
生として、より愛着を持って、より有機的につながり合
える校友会にしていきたいと考えております。

今後とも皆様方のご協力を賜れますようお願い申し
上げます。



校友会 会長 廣幡 隆

【校友会役員】

名誉会長	佐藤 英明
会長	廣幡 隆
副会長	西丸 和重
	山田 壽一
理事	井上 善雄
	須山 健司
	山上 昌義
	宮入 昇
	押田 泰一
	坂本 貴則
監事	森口 武史
	島田 貴司
	石山 健一

支部長 津川 法史

中国・四国地区支部では、在学生保護者との交流・親
睦・情報交換、そして大学との一体感をより強く深める
ため、後援会と同じ日程で支部会を開催しており、大
学の現況や将来計画等様々なことを知ることができます。
また、当日は大学から教員をお招きしミニ講座が開
かれるので、再び学生気分になることができます。残
念なのは、参加者が少ないこと。我々支部も卒業生が
参加しやすい種を少しでも多く蒔き、沢山の花が咲き
ほこるよう、地道な努力をしていきたいと思っております。

校友会
4支部
活動報告

支部長 久保田 健司

大学時代の最高の思い出は、硬式野球部4年生
の時に千葉リーグで優勝し、全日本選手権大会に
マネージャーとして連れて行ってもらったことで
す。今でも当時の仲間達は僕の中で宝物です。新
潟県では約500人ものOB・OG達が、各方面で活
躍されています。新潟県人は一言でいうと「人が良
い」です。自分のことは二の次。気立てが良い方が
多い。少しでも卒業生同士が繋がり、皆さんのプ
ラスになれば嬉しいです。

中国・四国
地区支部

新潟県
支部

校友会
教育委員会

留学生
(日本)
支部

会長 齊藤 洋一

校友会教育職員会は、平成14年に校友会の支部
組織として発足しました。前身は卒業生の高校職
員と大学関係者が情報交換を行う年1回の「教育
研修会」で、すでに15回を数えています。近年は秋
の教職課程行事「教育実習報告会」と同じ日に開
催し、教員を目指す3・4年生と卒業生教員の交流
も図っています。今年度は、10月21日(土)15時よ
り支部総会および教育研修会を予定しています
ので、どうぞご参加ください。

支部長 池 愛明

2020年東京オリンピックが、留学生ならではの能力を
発揮する好機といって過言ではありません。その時を
目指して、日本での就職活動を行う本学在籍留学生に
対して、日本の各分野において活躍されている当支部
のメンバーたちが積極的にアドバイス等を行う予定で
す。可能な限り、インターンシップの機会も在学留
学生に提供できるようにしたいと考えております。



平成29年度

校友会総会のお知らせ

開催日 2017年10月28日(土) 午前11時より

場所 中央学院大学30周年記念館(6号館)
611小講堂

審議事項(予定)

- ◎平成28年度 事業報告・決算報告
- ◎平成28年度 会計監査報告
- ◎平成29年度 事業計画(案)・予算(案)

あびこ祭会場で使用できる **食券[500円券]** 1枚をプレゼント。
総会出席後、思い出の「あびこ祭」を久しぶりに楽しみください。

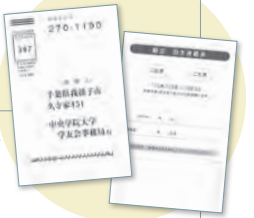
「あびこ祭」の
当日に
開催します。



総会出席のお申し込みは

事前に出欠の有無を綴じ込みハガキで
お知らせください。

※校友会規約第12条に基づき、平成29年度総会
を開催します。1人でも多くの卒業生の皆様の
ご出席をお待ちしています。



卒業生親睦会 助成金制度

校友会では、平成29年9月～平成30年8月末の期間限定で、卒業生同士がより
親睦を深めていただけるよう、親睦会に助成金を交付する制度を設けました!
原則として、期間内に1度(1人1回)卒業生が10名以上集まる親睦会に対して、
3万円を助成いたします。

これを機に懐かしい旧友をお誘い合わせの上、近況報告や懐かしい思い出話を
する機会を作ってみませんか?

助成条件や申請方法等記載がございますので、必ず利用規約をお読みいた
だき、ご理解いただいた上で申請をお願いいたします。利用規約や申請書等
の印刷は校友会ホームページにて!!



ホームページを開くとこのバナーが飛びこんできます。



課外活動 助成金制度

平成25年4月より中央学院大学公認団体に対し、大会参加費、
交通費、講習会・研修会費等の費用を、各団体1年度10万円を
上限とする助成を行っています。

これまで少林寺拳法部、女子バレーボール部、男子バスケット
ボール部、ゴルフ部、ソフトボール部、写真部、茶道部より申請
があり助成を行いました。



ゴルフ部ではメンタルトレーニングの指導を臼井
博文氏(写真右から4人目)をお願いしていますが、
その講習費用として課外助成金を利用しました。



女子バレーボール部は、中国への
海外強化遠征費用として、課外
助成金を利用しました。



技術とメンタルの両輪を備えたチーム
全国トップの座に！

5月10日(水)・11日(木)に栃木県サンヒルズカントリークラブで開催された「関東女子大学春季Aブロック対抗戦」にて優勝しました。チームスコア576(第1日～288、最終日～288)で2位の東北福祉大学に7打差をつけての栄冠、さらに2日間を通して安定したプレーが光った永田選手がMVPを受賞しました。

続く6月15日(木)・16日(金)の苫小牧ゴルフリゾート72で行われた「第40回全国女子大学ゴルフ対抗戦」では、2日間を粘り強く戦い、準優勝。さらに丹野選手が本大会2度目となるMVPに輝きました。好調のゴルフ部女子チーム。今後も応援のほどよろしくお願ひします！

◀本館の壁面に掲げられた垂れ幕



個性派揃いのメンバーに感謝！

主将 廣田 美優さん 商学部4年

個性の強いメンバーを引っ張るのは至難の業ですが(笑)、みんな付いて来てくれて感謝しています。全国女子大学ゴルフ対抗戦のとき、初日の悪い面を引きずることなく、2日目に巻き返すことができ、チームの成長を感じました。この勢いで秋の信夫杯でもみんなで力を合わせて、良い結果を出せればと思います。

ゴルフ部
女子チームが
大躍進！



応援に駆けつけていただいた佐藤学長と出場メンバーたち

優勝

関東女子大学春季Aブロック対抗戦

最優秀選手賞 永田 萌夏(3年)選手

準優勝

全国女子大学ゴルフ対抗戦

最優秀選手賞 丹野 寧々(4年)選手

一打に集中した関東大会。
あとは主将の胸上げだけ！

永田 萌夏さん 商学部3年

関東女子大学対抗戦では、自分の成績がどうこうよりも、ただ1打1打に集中していました。全然まわりが見えてなくて(笑)。結果、良い成績を残すことができ念願だった個人タイトルをいただくことができました。残す目標は、秋の大会で優勝して、廣田主将を思いっきり胸上げすることです！頑張ります！

大学最後の年、
ぜひ日本一に！

副主将 丹野 寧々さん 商学部4年

普段から可動域を広げるTPIトレーニングやメンタル講習などを取り入れ、技術と精神の両面から磨いています。試合中ミスをして、みんな明るくポジティブに変えていけるので、それが私たちに強さにつながっていると思います。大学最後の今年、ぜひとも日本一を獲って、プロの世界に挑戦したいと思います。



先生、おっかれさまでした

法学部が誕生した年から本学に奉職され、
永年教壇に立たれてきた宇都宮先生が大学を後にされました。

寄稿

大学生活を振り返って

宇都宮 充夫



1993年 大学案内パンフより

宇都宮先生は、大学広報にも協力的でたびたび案内パンフレットの誌面に登場されている。

私は、中央学院大学法学部創設の昭和60年4月1日に専任教員の一人として就任し、それから32年間の教員生活を送り、平成29年3月31日に定年退職しました。顧みれば、辛いこと、苦しいことも多々ありましたが、それ以上に楽しいこと、嬉しいこと等充実した日々を過ごすことができたかと思ひます。講義、演習等で多くの学生と接する機会があり、本学の学生は根本的に純朴で、素直で、真摯な性格の持ち主がほとんどであり、時には講義中怒鳴りつけたこともありましたが、あっという間の90分でした。入学時はまだ子供という感じでしたが、4年間経って社会に巣立つときは、大人として1人ひとりみな一段と成長し頼もしく思われました。

私は、大学では民法学の研究と教育に専念してきたのですが、研究テーマは、「不動産権利の諸問題」であり、研究書としては、「空間所有権の実現形態」、「不動産権利をめぐる判例研究—平成の最高裁判例を中心に—」等を刊行することができました。解説書としては、「民法(総則・物権)」、「民法(債権)」、「物権法—その解釈と判例」等を刊行し、講義の教材として活用しました。

部活では、体育会ゴルフ部の部長、法曹講座研究室誠法会(法制研究室の前身)の顧問等で多くの学生と接し、いろいろ貴重な体験をしました。

いずれにしても、私がこの32年間恙無く、それなりに教員生活を全うすることができたのは、教員並びに職員の皆様方、学生諸君のお陰だと思っています。心よりお礼と感謝を申し上げます。



1989年 大学案内パンフより